

2018年(平成30年)11月22日(木)

## 三島市補助金文書改変

### 口頭で事業変更 半年後に書類作成

三島市が「三島市地域ブランド推進協議会」(諏訪部敏之会長)に対する2016年度の補助金関連の文書を改変していたことが、市などへの取材で判明

問題の補助金は「農商工連携・6次産業事業費補助金」。市によると、当初はサツマイモ商品開発に200万円を補助するとして協議会に支出した。しか

し、協議会が「商品開発は別の資金を充てた方が良い」と判断し、補助金は17年2月開催の食のイベント「アモーレみしま」に121万円、別のイベントに45万円を充てた。協議会事務局は市商工観光課内にあり、市は「補助対象の変更は市と協議会とで口頭で合意していた」としている。

しかし、変更に必要な協議会側の「補助金変更申請」と市側の「補助金変更通知」はともになかった。このため17年4月に担当を引き継いだ市職員が、16年

度の担当者名義で書類を作成し、当時の部長のハンコを集めたという。市の島和哉・商工観光課長は「補助金の点検をする中で、あるべき補助金変更承認の書類がなかったため書類を調整した」としている。

一方、アモーレは78

万円の赤字が発生。市は17年4月に補助金の残額34万円もアモーレに充てると決めた。赤字補填の疑念について、同課の千葉敬・地域ブランド創造室長は「増額分もコンサルテーション料で補助対象に合致した費用だった」としている。【石川宏】